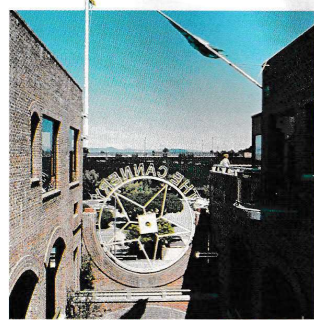


マーメイド号も展示されているフィッシャーマンズ・ワーフ周辺 サンフランシスコの味をためしてみよう

坂道が多くてちょっと危険な通りだけれど、ケーブル・カーが走っているメインSTをまっすぐ海の方へ下りると、林立する小型漁船のマスト、3000軒もあるだろうといわれているシーフード・レストラン、波止場劇場などがひしめくピアに突き当たる。

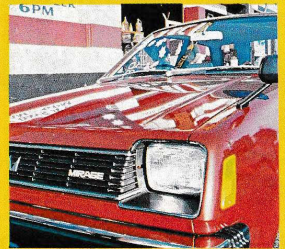
ここがゴールデン・ゲート・ブリッジと並ぶサンフランシスコ屈指の観光地、フィッシャーマンズ・ワーフだ。有名レストランに入るのもいいが、目の前の大釜でゆでたエビやカニにレモンをかけて立喰いするのもらしくていい。食後は近くにあるショッピング・タウン、ギラデリスQやザ・キャナリーでウィンドウ・ショッピングを兼ねながらゆっくりと散歩を楽しむのもいい。



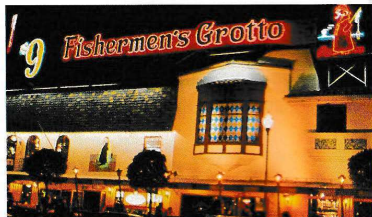
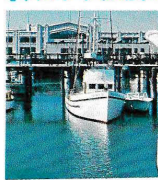
↑ザ・キャナリーは新しいショッピング・タウン

サビを防ぐための配慮がボディのすみずみにまで

クルマだっていくらかワックスをかけて磨いたって肝心の塗装がよくないとかムダ骨というもの。ミラージュは電着塗装ですみずみまで防錆処理が行きとどいているうえに要所々々は亜鉛メッキの鉄板で覆っているのだ。



↑ランチ・タイムは小エビの立ち喰い。夜のディナー・タイムにはちょっと気取ってフル・コースもいい



ゴールデン・ゲート・ブリッジを渡ると、そこは地中海の港町 ソーサリートは光と風の中にある小さな街

サンフランシスコから101号線を北上、ゴールデン・ゲート・ブリッジを渡って約10分も走ると青い海に面した地中海の港町のようなソーサリートが見えてくる。ここはサンフランシスコから一番近い優雅なリゾート・タウンだ。この小さな港町にサンフラン



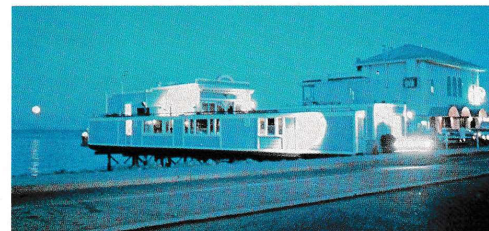
↑ソーサリート風、魚と貝のカレー・ライスだ
シスコを地盤とするアーティストが住み着くようになり、この街を有名にした。街を歩けばしゃれた店がズラリと並んでいる。



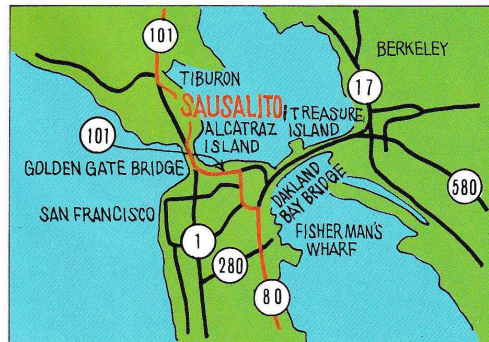
↑観光客相手のショッピング・センター・V・フェア



↑ウィークエンドにはヨット遊びの人でいっぱい



↑サンフランシスコの街が霧に包まれ、夕陽が沈む頃のソーサリートは美しい



10モード燃費でリッター当たりなんと17キロ、低燃費にアメリカ人もびっくり。

ミラージュのエンジンはその経済性と性能の良さで定評のある「超希薄燃焼」のMCA-JET・オリオン・エンジンだ。

クリーンでスムーズな燃焼で53年規制をクリアし、1滴のガソリンもムダにしない経済性が評価されている。



1200 G/L (エコノミーレンジ) 運輸省審査値

食事といえばソーサリートには海の上に突き出たピアの上にあるオンディンを始め、有名レストランがたくさんあり、特に豊富で新鮮な魚介類を使ったシーフードはおすすめできる。サンフランシスコに沈む夕陽を眺めながらの食事は最高だ。

↑堀江青年はこのヨットハーバーの対岸に暮らす

